

この地域に住んでよかった







7月1日現在〈前月比〉

65 歳以上男 1,733 人<±0>65 歳以上女 2,057 人<+3>高齢化率 21.37% <+0.02>

発行 吉身学区社会福祉協議会 間合せ**☎**077-583-1650

7月7日 自民福合同研修会が開催されました (参加者 67名)

自民福(自治会長・民生委員児童委員・福祉協力員)

危機管理課の藤井課長補佐と木村専門員に個別 避難計画について地域ぐるみで命を守る大切さや 計画を共有することで災害時の避難支援体制強化 につながることをお話いただきました。その後、 自治会の取組みの情報交換を行い、それぞれの自 治会での防災活動の参考になりました。色々な意 見や質問がある中、丁寧に説明していただき、個 別避難計画について理解を深め、防災意識が高ま る研修会になりました。





福祉協力員研修が開催されました

(参加者30名)

6月 20 日、東近江市社会福祉法人あゆみ福祉会とマーガレットステーションに行きました。 あゆみ福祉会の成り立ちや活動を詳しく教えていただき、施設内の見学や施設で作られた、などを 織りの商品や工房しゅしゅの食品、布巾なの はしました。マーガレットステーション内の 高いました。マーガレットステーション内の いましたが、買い物もでき、楽しく充実した研修でした。



福祉部会主催 在宅介護者のつどい開催

場所:ライズヴィル都賀山 (参加者 10名) 7月2日、お笑い福祉士の宇田賢一さんをお招きしました。前半は、介護の話をしていただき、被介護者の気持ちや介護者の理解と対応の仕方等を参加者の方は熱心に聞いておられました。後半は、腹話術、小噺、なぞなぞ、皿回し、南京玉すだれ等のパフォーマンスを見せていただき楽しいひとときを過ごすことができました。少人数でしたが、ゆっくり交流しながら和やかな雰囲気のつどいでした。



中部地区地域包括支援センター

認知症サポーター養成講座について

- ・認知症は、誰にも起こりうる脳の病気です。認知症になっても、周囲の理解と心遣いがあれば、穏やかに暮らしていくことができます。
- ・「認知症になっても安心して暮らせるまち」を市民の手でつくっていくことを目指し、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族、介護者を温かく見守る応援者である「認知症サポーター」を養成します。
- ・中部包括では、認知症サポーター養成講座 を随時開催しています。およそ 90 分程度、 10 人程度のグループからお受けしますの で、自治会の研修などでご活用いただけるよ う、お声かけいただけたらと思います。
- ・認知症サポーター養成講座の詳細やご依頼については、中部包括までご連絡ください。

☆8月の「こもれび café 」は・・・

8月19日(火) 午後1時30分~午後3時 守山市立図書館 1F活動室にて 「お茶でも飲みながらお話しましょう」 ※図書館が休館日ですが、こもれび café は やっています。

【お問い合わせ】

中部地区地域包括支援センター (すこやかセンター内)

電話 077(584)5519 FAX 077(584)5363







